

第2部 社会教育委員研修会

郷土芸能を地域で受け継ぎ、発展させる

～武蔵国府太鼓の紹介とインタビューーク～

武蔵国の中心地として栄えてきた府中市は、昔から太鼓と深いかわりを持ち、その伝統を受け継いできました。武蔵国府太鼓は、このような歴史と伝統に培われたふるさと府中に新しい郷土芸能をつくりたいとの願いから昭和 57 年（1982 年）に創作されました。伝承普及のため武蔵国府太鼓を愛好する市民グループで結成された「武蔵国府太鼓連盟」が演奏活動と演奏者を育てる講習会を行っています。

響会は、武蔵国府太鼓連盟を構成する 3 つの会の一つであり、府中市の郷土芸能として市民芸術文化祭や会社・団体などの記念式典、病院や老人ホーム等のイベントで公演する他、オリンピックや国体、ラグビーワールドカップでも演奏を披露し、ハワイや韓国、ウィーンでのイベントにも参加しています。

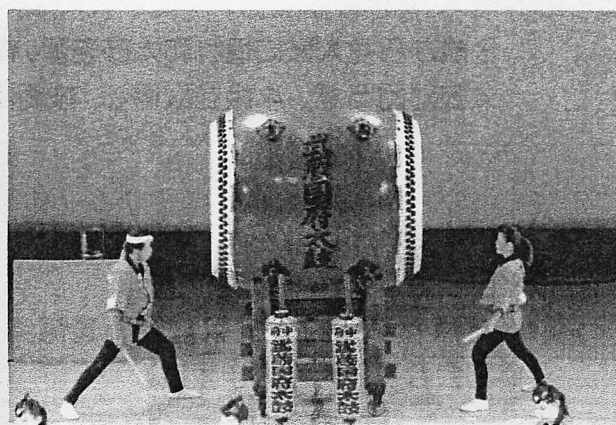
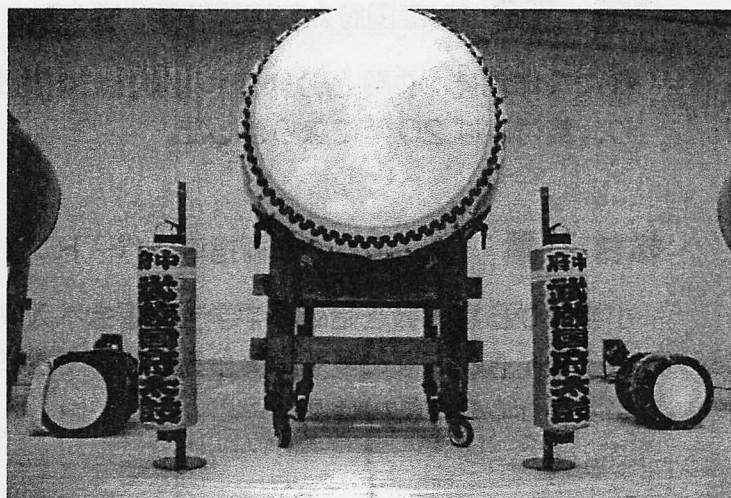
<紹介する曲>

乱れ打ち

分倍河原合戦太鼓

国府のうたげ

仕舞拍子



＜インタビュートーク参加者紹介（敬称略）＞

佐藤 祐三（武蔵国府太鼓連盟会長、響会会長、パート：中太鼓）

10年前にサラリーマンからラーメン屋に…

市川 彰（武蔵国府太鼓連盟事務局長、響会会長代行・技術指導、パート：大太鼓）

市民講習会の第10期生として卒業後、響会に入会。今日まで、約30年に渡り培った経験を活かし、会員の技術向上だけでなく、未来伝承者の育成と武蔵国府太鼓の発展を目指し、小学校和太鼓クラブの講師等も務めさせて頂いております。

伊藤 三子（武蔵国府太鼓連盟役員、響会副会長、パート：小太鼓）

様々な年齢層の仲間との練習や演奏会に参加が出来た喜びと家族の応援もあり、気付けば20年になりました。

松村 薫（響会役員・技術指導、パート：小太鼓）

小学生から和太鼓を始め、中学生で響会へ入会。高校は、和太鼓部へ入部し、大会やイベントなど多くの舞台を経験してきました。和太鼓の魅力を伝えられる演奏を心がけています。

田中 礼侍（響会ジュニアリーダー、パート：大太鼓）

3歳から盆太鼓に憧れ和太鼓を習い始め、7歳より響会に入会しました。日本太鼓財団5級、4級を取得し、技術向上を図り、日々練習を頑張っています。

インタビュアー：**長畑 誠**

（東京都市町村社会教育委員連絡協議会会長、明治大学教授）

